

### エンタテインメントとしての スポーツビジネスを追求

授業を通してスポーツビジネスに興味を持ち、チーム運営の実際を知るためBリーグチームでインターンシップも経験。夢に向けてチャレンジを続けるスポ健生をご紹介します。

#### ずっと関わってきたスポーツを

「お金」という切り口で見る面白さ

両親が高校教員だったので、幼い頃から部活動の試合を観戦するなどスポーツを身近な存在として育った。中学校で本格的にバレーボールを始めた頃には、将来スポーツに関わる仕事をしたいと思うようになり、地元公立高校のスポーツ健康科学科に進学。スポーツに関する専門的な授業を受けて「もっと学びを深めたい」という思いから、本学への進学を決めた。高校にも競技レベルの高い友人がいたが、スポ健はそれ以上の環境だった。「学びへの意



【すえつね・たみ】 京都府立乙訓高等学校スポーツ健康科学科出身。スポーツ健康科学部4年次生。中学・高校でバレーボール部に所属、主将を務める。大学ではスポーツビジネスのゼミに所属、プロバスケットボールBリーグ京都ハンナリーズでワンシーズンのインターンシップも経験。

識も高い人が多く、私もさらに頑張ろうと思いました」

2年次の時、スポーツマネジメント・健康科学・トレーニング科学というスポ健における学びの領域を概観する必修科目「基礎実習」で、初めてスポーツビジネスと出会う。スポーツの価値を収益につなげるスポーツビジネスは、欧米では既に巨大な産業。日本でも成長産業としての期待を担っている。それまで自分で見たりやったりしてきたスポーツを、「お金」というまったく違う切り口で見ることがとても面白く、「これがやりたい！」と感じました。

例えばJリーグ。各チームの決算表を見て財務分析を行う授業なら「有名な選手のいるチームは移籍金などで支出が多いけれど入場料収入も多いなどか、このチームのグッズ収入が多いのはなぜだろうとか、数字を見て考えるのが

すごく楽しかったんです。興味があるから自分でどんどん勉強を進める。するとさらに楽しくなってきました」。レポートを書いていても、いつも関心をさらに深く突き詰めたくなる。それほどスポーツビジネスを学ぶ魅力に与りつかれた。

#### 夢はスポーツチームのスタッフ 経験を積んでチャンスをつかむ!

学ほどに興味を持ったのがスポーツチームの運営だった。実際の様子を見てみたいと、プロバスケットボールBリーグ「京都ハンナリーズ」の学生インターンに応募。選手とのコラボ商品の企画やSNSでの発信に関わり、マスコットキャラクターの試合での演出や、メディアをコントロールする広報の仕事も垣間見た。

そこで感じたのは、スポーツビジネスにおける「人を楽しませること」の大切さだ。「試合の勝敗も大切ですが、エンタテインメントの一つとして、いかにお客様に楽しんでもらえるかがとても重要だということを確認しました。それが再び試合へ足を運んでもらうこと、ひいてはチームの収益にもつながるのでから」

少数精鋭のスタッフがさまざまな仕事をこなしながら、試合や遠征にも同行する厳しい世界。スポーツビジネスの内部からスポーツを見た貴重な経験は、スポ健での学びにも、将来の目標にも影響を与えた。

スポ健ではスポーツビジネス論を専門とする庄子博人准教授のゼミで、卒業論文を執筆中。テーマは「スタジアムの新規性効果」。スタジアムが新しくなったことによるチームへのポジティブな効果が、どれくらい続いているかに注目した。2015年に完成したJリーグガンバ大阪のホームスタジアム「パナソニックスタジアム吹田」を対象に、スタジアムのオープン前後の観客動員数やチームの財務状況の変化を長期的に追跡。選手のパフォーマンスやファンの行動にどのような影響を与えたかなどについても考察する。

「そのスポーツをあまり知らない人でも、新しいスタジアムなら行ってみようという気になる。それも効果の一つです。どのような効果がどのくらい続くかが分かれば、次の一手を打つべき時期や方法も分かるのではないかと考えました。スポーツをエンタテインメントとして生活に根付かせることにつながる研究にしたいと考えています」

将来の夢は、インターンで経験したプロスポーツチームのスタッフになること。新卒での採用は難しいため、社会人としての経験を積みながら、いつかチャンスをつかみたいと考えている。「スポ健には、スポーツを極める人、勉強を極める人など、目標に向かうときに大きな力を発揮できる人が多い。私もそんな仲間と互いに高め合おうことができました。これからは、目標に向けて努力を続けたいと思います」

## 母から子へ、子から母へ

### 母から子へ

母・吉田江里さん

あなたの名前の朋弘は、朋は友達、弘は広いを意味し、友達をたくさん作って広く大きく育ってほしい、との願いから名付けました。

生まれた当初は、卵と小麦粉の食物アレルギーがあることを知らず離乳食のうどんでアナフィラキシーショックを起したり、気管支喘息を発症し1歳の誕生日を入院中の病院のベッドの上で迎えたりと本当に病院のお世話になって心配しました。あなたがまだお腹にいる時にお姉ちゃんお兄ちゃんの時ほど健康に気をつけなかったから病弱な体になってしまったのかな、と悩んだこともありました。

幸いにも1歳を過ぎた頃から食物アレルギーを克服し何でも食べられるようになって、体も丈夫になってくれたことが本当に嬉しかったです。

小さい頃は、未っ予らしく要領がよく何でも早くからできるようになりましたが、気に入らないことがあると拗ねて逃げ出したりとなかなかのやんちゃ振りを見せていました。でも実は甘えん坊で常に私の横にくっついて手をつないできたことが可愛くて昨日のように思い出されます。

そんなあなたが小学2年の時に野球と出会って大きく成長しましたね。いつも野球を中心に進路を選択し、ひとつの信念を持って突き進む、その行動力は親ががらすこいと感心しています。地元の中学校に野球部がないことで「野球部がある学校に行きたい」と「同志社

毎号、スポーツ健康科学部の一組の親子をご紹介します。

大学の野球部に入りたい」という目標から中学受験を目指しながら、もちろん野球も休むことなく両立させて頑張りました。そして見事受験を突破し、中学高校の6年間も野球中心の学校生活を満喫しましたね。そして晴れて大学に入学したもののコロナ禍に巻き込まれ、大好きな野球が思うようにできず、もどかしい気持ちだったことでしょう。

2年生になり、少しずつ試合に出る機会も増えてきた矢先、体調不良や怪我が続きました。悩んでいたのはわかっていただけで、見守るしかありませんでした。

そして3年生の今年6月、治りきらない怪我の体を受け入れて、選手を引退し裏方にまわるという大きな決断をしましたね。その時、「大学野球で活躍する姿をみせることができず、期待に応えられなくて、めんない。」と泣きながら言ったけれど、頑張っていた姿は誰よりも身近で見ていたし、たくさんの思い出と感動を分かち合えたことは私の一生の宝物です。

野球選手生活としての13年間、本当にお疲れさまでした。野球は、チームワークが大事なスポーツです。だから少年野球時代から中学校そして大学とこれまで築き上げた経験と仲間との絆を大切にしてください。

そしてこれからもっと視野を広げて、名前のように多くの人と関わり充実した人生を歩んでいってください。応援しています。

### 子から母へ

子・吉田朋弘さん

このような機会でも母への手紙を書かせていただけることは、何か特別な縁だと思っているので、ありのままの感謝の気持ちを素直に伝えたいと思います。

初めに、いつも明るく元気に振る舞い、笑顔の絶えない楽しい毎日をくれてありがとう。仕事に家事に、一日中忙しいにも関わらず、辛い様子を全く見せないお母さんは、本当にすごいと思うし、尊敬しています。幼い頃からやんちゃで、それなのに泣き虫だった私は、沢山迷惑や心配をかけていたと思います。それでも、常に明るく、時に厳しい態度で正しい方向へ導いてくれました。そんなお母さんがずっとそばにいてくれたことで、今の自分があると思っています。本当にありがとうございます。

幼い頃から習字や水泳など、様々な習い事に通わせてもらいました。中でも、小学2年生から始めた野球は、以来、私の生活の中心でした。そのことで、散々家族を振り回してきたと思います。

中学受験をする時突然言い出した私は、小学5年生から塾に通わせてもらい、受験の準備を始めました。周りの子よりも遅れている、そのような状況にも関わらず、野球がやりたかった私は、「土日は練習が終わってから塾に行く」と言いました。今思えば、なんてわがままで馬鹿なことを言っているんだと思いますが、母は塾よりも野球を優先することを認めてくれ、私がやりたいことをやりたいうようにやらせてくれました。

した。案の定、成績は伸び悩み、合格判定もボーダーギリギリ、ましてや入試の前期日程と後期日程の間にある試合に出ると言った時には、気が気でなかったと思います。そんな状況でも私を信じて支えてくれたから、志望校に合格する事ができたと思っています。

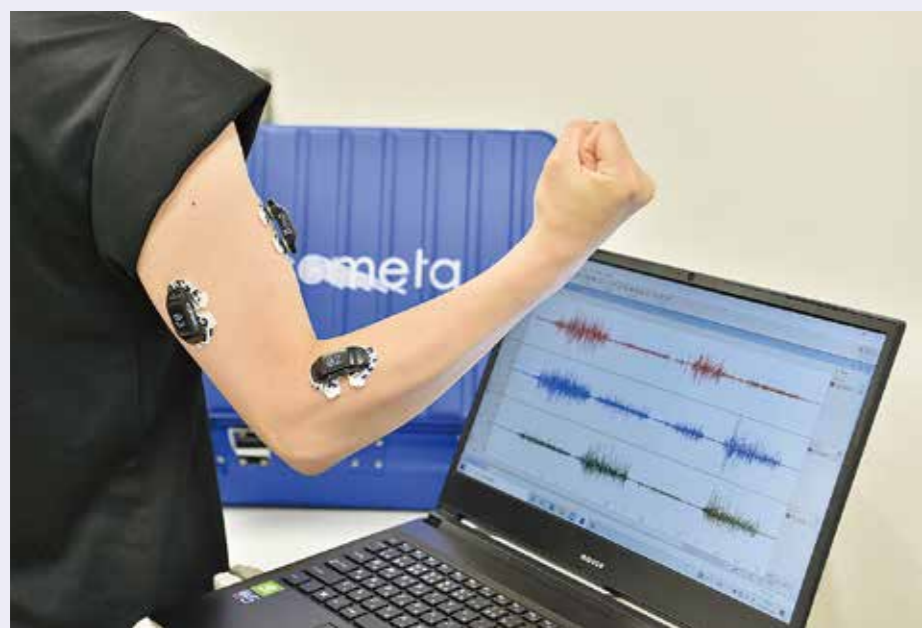
高校の野球部で主将になった私は、チームが上手くいかず結果が出ない時期に、家でネガティブな気分になってしまふ事が多くありました。そんな時でも、母は「この悔しさを次に繋げよう」と、前向きな言葉をかけ明るく振る舞い、身近で支えてくれました。その支えに気付いた私は、大学では母や父、今まで支えてくれた人々に活躍している姿を見て、恩返しをしようと思っていました。しかし、怪我をしてしまった時、「朋弘の人生なんだから、自分がしたい決断をしろよ」と言葉をかけてくれ、苦しかった心がとても楽になったのを覚えています。

私は今後の人生で、お母さんのように常に明るく、時に厳しさをもち、愛情をもって人に接する事ができる人になりたいと思っています。これから、社会人になっていくわけですが、愛情を注いで育ててもらった恩を返していきよう頑張るので、これから元気で明るく、見守っててください。



●次号(2023年11月発行予定)のこのページを執筆いただける親子1組(ただし2020年度以降生を募集いたします。希望される方は2023年2月22日までに、17頁に掲載の教員父母連絡会事務局メールアドレスへ、親・子それぞれの氏名「学生ID」を明記して応募ください。なお、応募多数の場合は抽選といたします。





計測中の筋電図モニタリング

このシステムでは、私たちの身体を動かすエンジンである筋肉が収縮して力を出す際に生じる活動電位(筋電図)を記録することができます。筋電図計測は、医療現場からスポーツ現場まで様々な場面でのヒトの身体の動きの仕組みを解明するために役立ちます。このセンサーは、電極ケーブルがなく、センサー本体に直接ディスプレイを付けた電極を付けた被験者の測定部位の筋に装着する電極一体型の小型ワイヤレスセンサーです。様々な筋電計がありますが、このシステムの特徴としては、1つのセンサーが7gと超軽量であること、また、ジェル状の湿式電極が皮膚表面にしっかりと貼り付けられることから、ダイナミックな動きでも筋電センサー本体

が外れることなく計測できます。7gのセンサー本体には小型であるにも関わらず加速度計も内蔵されており、筋活動と合わせて身体の動きを追うことが可能です。16個あるセンサーが、すべて完全に同期して記録されるため、最大16筋について「いつ、どの筋がどのように活動したか?」の観察が容易にできます。動きの揺れのノイズを拾ってしまう問題がなく、実際の競技場面に極めて近いパフォーマンスを行うことができることから、写真のバドミントンのスマッシュ動作のような高速で腕が振り切られる場合でも、各筋の活動を確実に記録することができます。

これまでのワイヤレスタイプのセンサーは、その電波が届く範囲でのみ計測が可能であるものが多かったのですが、このセンサーには長時間記録をしてそのデータを溜めておくことができる機能があり、計測をスタートしてから、長時間の測定を広く範囲で行うことができます。スポーツ場面では全力疾走や長距離走、日常生活ではデスクワーク中や睡眠時の筋活動を計測することなども可能です。また、小型センサーは幼児・児童などの筋肉のサイズがまだ小さな子どもにも使用することができます。このように、あらゆるヒトの動きの仕組みを解明するような研究課題に汎用性高く使用することのできるセンサーは、演習や卒業研究で学生の探求心をより高めてくれるものとなると期待しています。



バドミントンのスマッシュ動作中の上肢筋電図測定

ワイヤレス・ケーブルレス超小型筋電センサー (Pico, EMG & Motion Tools, Cometa systems)

### 最先端の実験機器紹介

新井 彩 先生

### 成績通知書の確認方法

同封しています成績通知書の確認方法についてお知らせいたします。2017年度以前生と2018年度以降生ではカリキュラムが異なります。学年によって一部表記が異なりますが、2021年度生を例に説明いたします。

履修年度	期間	科目名(クラス)	単位	成績	担当者名	履修年度	期間	科目名(クラス)	単位	成績	担当者名
必修科目(26単位)						選択科目F群(30単位以上)					
2021	春学期	スポーツ健康科学論入門	2	A	1	2022	春学期	心理学1	2	A	
2021	秋学期	スポーツ生理学	2	D		2022	秋学期	心理学2	2		
2022	春学期	基礎実習	2	B		2021	春学期	スポーツ・パフォーマンス1-115	1	A	
2021	春学期	ファースト・イヤー・セミナー	2	A	3	2021	秋学期	スポーツ・パフォーマンス1-611	1	A	
2021	春学期	スポーツ社会学	2	B		《英語(8単位以上)》					
2021	春学期	生理学	2	F		2021	春学期	コミュニケーション・イングリッシュ1-422	1	C	
選択科目A~E群(48単位以上)						2021	秋学期	コミュニケーション・イングリッシュ2-322	1	B	
《選択科目A群(6単位以上)》						2021	春学期	アナリティカル・リーディング1-265	1	A	
2021	秋学期	スポーツ政策論	2	A		2021	秋学期	アナリティカル・リーディング1-265	1	B	
2022	春学期	スポーツ運動学	2	A		2022	春学期	イングリッシュ・セミナー1-546	1	C	
2022	春学期	トレーニング論	2	C		2022	秋学期	イングリッシュ・セミナー2-320	1		
2021	秋学期	健康運動論	2	B		2022	春学期	イングリッシュ・ワークショップ1-354	1	C	
****	秋学期	スポーツ教育学	2			****	秋学期	イングリッシュ・ワークショップ2-503	1		
《選択科目B群(22単位以上)》						《英語以外(4単位以上)》					
****	秋学期	スポーツ医学A(内科系)	2			2021	春学期	中国語入門1-2	2	B	
2022	春学期	スポーツ医学B(外科系)	2	B		2021	秋学期	中国語入門1-5	2	B	
2022	秋学期	生活習慣病概論	2	中止							
2022	春学期	発育発達と老化	2	B	4						
****	秋学期	スポーツ栄養学	2								
《選択科目D群》											
XX21	春学期	スポーツ健康科学のための自然科学入門	2	F	5						
2022	春学期	スポーツ健康科学のための自然科学入門	2	C							
2022	春学期	生物学	2	F							

参考  
2022年度春学期終了時点での各学年の修得単位ならびにGPAの平均値  
1年次生: 20.7単位 GPA 2.57  
2年次生: 56.8単位 GPA 2.59  
3年次生: 92.8単位 GPA 2.67  
4年次生: 117.6単位 GPA 2.70

同志社大学 成績通知書

所属: スポーツ健康科学部 スポーツ健康科学科

学籍番号: 2021年度生(2年次) 999番

氏名: 同社 太郎  
生年月日: 20XX年(平成XX年)5月1日生 性別: 男

学生ID: 1115-21-0XXX

学籍に関する事項

本人住所: 10〒

父母氏名: 11〒

父母住所: 11〒

学籍異動

異動種別	異動年月日	異動事由
入学	2021年4月1日	

学業に関する事項

単位修得表

種別	卒業必要単位数	修得数		種別	卒業必要単位数	修得数	
		科目	単位			科目	単位
必修 基礎科目	12	5	10	選択D群		1	2
必修 演習科目	14			選択E群			
卒業研究A-B	6			選択F群	30以上	11	14
				教養関連	18以上	3	4
選択科目計	98以上	28	44	英語	8以上	6	6
選択A~E	48以上	17	30	英語以外	4以上	2	4
選択A群	6以上	4	8				
選択B群	22以上	8	16	合計	124	33	54
選択C群	6以上	4	4	自由科目			8
C群I類	4以上	4	4	免許・資格関係科目			
				必・選A~E	40単位	2.88	
				直近学期GPA	2.71		累積GPA 2.98

- 1 (評価判定基準)  
A: 4.0 (特に優れた成績を示した)  
B: 3.0 (優れた成績を示した)  
C: 2.0 (妥当と認められる成績を示した)  
D: 1.0 (合格と認められる最低限度の成績を示した)  
F: 0.0 (合格と認められるに足る成績を示さなかった)
- 2 それぞれの科目を履修した年度です。
- 3 現在登録中の科目です。(成績評価欄は空欄になっています)
- 4 1ヶ月程度授業を受講し、望ましい評価が得られないと本人が判断して、履修を中止した科目です。この場合GPAには算入されません。
- 5 合格評価で書き換えられた不合格評価であることを示します。F評価を取得した科目で、再履修し、D以上の評価を得ることができれば、最初のF評価はGPAに算入されません。
- 6 単位修得表内の必修科目欄(表左上部の3項目)について、「卒業研究A・B」については修得状況を独立して記載するとともに、「必修 演習科目」にも含めて記載します。(2017年度以前生については、必修基礎科目として修得した単位の中にスポーツ・パフォーマンス1の単位も含めて記載しています。)
- 7 選択科目B群で卒業に必要な22単位のうち、16単位を取得している。
- 8 在学期間中に修得した単位数を示します。卒業に必要な124単位のうち、54単位を取得している。
- 9 在学期間中に修得したGPAを示します。
- 10 本人住所の変更は、学生がDUETを通じて行うことができます。
- 11 父母住所の変更は、学生が学務事務室の窓口に届け出てください。

\*上記の成績通知書はこの誌面用に作成したものです。実際のものとはサイズ等異なります。



## 2022教員父母連絡会 総会レポート

ONLINE



### コロナ禍での授業を振り返り 課題を共有

5月28日(土)、2022年度教員父母連絡会総会が開催されました。新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、昨年に続いてZoomによるオンライン形式での実施となりました。13時30分に始まった総会では、森本理恵会長の挨拶に続き、竹田正樹学部長が挨拶と学部内近況報告を行いました。本学部の今日までの歩み、フランス・ドイツ・ニュージーランド・アメリカ・スペインの大学との国際交流事業の発展などを紹介した後、本学部生



森本理恵 前会長(2021年度会長)



竹田正樹 学部長(2022年度副会長、教授)

の現況を詳細に報告。入試志願者数の推移や、2018年度に4年次生を対象に行ったカリキュラムに関するアンケートでは、学部の提供する授業に対して大半の学生が肯定的な回答をしていることが示されました。また体育会OB・OGで構成される同志社スポーツユニオンにおいて、2021年度に全国大会優勝レベルの成績を上げた本学部の学生多数がアスリート表彰・優秀個人賞を受賞したこと、1年次での成績に対して与えられる新人賞でも、全国学生大会での入賞や関西優勝レベルの成績を取めた多くの本学部学生が選ばれたことが報告されました。

全学を対象としたコロナ禍における授業アンケートでは、5割以上の学生が講義動画を繰り返し視聴していることが明らかになった一方で、リモートでは授業に参加している実感や内容を掘り下げる力が希薄であると感じた学生が多いことが分かりました。また、今年度から京田辺校地では97%の授業が対面形式に戻っていますが、双方向オンライン授業との併用については教室移動が思い通りにならないなど改善すべき課題もあり、今後大学として問題を精査していく構えであることが伝えられました。



吉田江里 会長(2022年度新会長)

信を開始したこと、新型コロナウイルス感染症に係る奨学金の募集を21年度も行い、10名に各1万円を給付したことなどが報告されました。なお22年度における同奨学金の募集時期は未定です。総会終了後は、本学部在籍する24名のうち21名の教員による自己紹介が行われました。

### カリキュラムの特色と コロナ対策、 取得できる資格などを説明

続いて教務主任の上林清孝准教授より、「スポーツ健康科学部で学ぶこと」と題して、カリキュラム(教育課程)の特色、公式YouTubeチャンネル開設、コロナ禍での授業形態、卒業要件、学業成績の評価、取得可能な資格などの説明がありました。

カリキュラム関連では、まず本学部の学習領域はこれまでの体育学とは異なり、医学・生理学・経済学など多様な領域を親学問として発展した応用総合科学であることが語られました。一方で自由度が高すぎて学びが分散してしまわないよう、健康科学・トレーニング科学・スポーツ・マネジメントという三つの学修領域から自由に科目を選択する履修システムとなっていることを紹介。健康科学領域では健康予防医学にスポーツ・身体活動の視点からアプローチを行い、トレーニング科学では競技力の向上にスポーツ科学の視

点からアプローチし、スポーツ・マネジメントでは健康を軸としたQOLの向上にスポーツと社会の関わりからアプローチを行うという説明がありました。



上林清孝 准教授(2022年度教務主任)

1年次でファースト・イヤー・ゼミナーなどによって大学での学び方の基礎を築き、2年次で履修する基礎実習・応用演習では幅広い実験・実習能力を獲得し、3・4年次での演習(ゼミ)・卒業研究につなげるというカリキュラムの特色や、大規模学部とは異なるきめ細かい少人数制教育なども紹介されました。ゼミの選考方法や、各ゼミでの具体的な研究内容も写真と共に紹介され、ご父母の皆様のご参考になったことと思います。

次に学生主任の庄子博人准教授から、本学部の学生支援等についての説明を行いました。最初に現在の本学部学生数、出身地別の学生数、下宿状況などを紹介。毎年発表されている学校情報ポータルサイト「みんなの大学情報」による今年5月の学部別の口コミランキングでは、私立1751学部中40位であったことなど、本学部の評価も紹介しました。ランキングでは、特に「研究室・ゼミ」「施設・設備」などの項目が非常に高い評価を得ているという指摘がありました。今年度のスケジュール紹介の後、本学部が選考する6種類の奨学金についての説明が行われました。

### 本学部への高評価と就職状況

設置、定期的な換気を行っていることなどを説明。このほか、卒業要件、GPAなどの成績評価方法の説明がありました。

取得可能な資格については、高等学校・中学校教諭一種免許(保健体育)や、他大学との連携による小学校教諭免許状(二種)の取得制度、日本スポーツ協会のコーチングアシスタント・スポーツプログラマーといった公認スポーツ指導者、健康・体力づくり事業財団の健康運動指導士、日本障がい者スポーツ協会の公認障がい者スポーツ指導者に関する案内がありました。

最後に大学による多様な就職支援プログラムも紹介されました。一般企業への就職に関する支援はキャリアアセン



庄子博人 准教授(2022年度会計)

卒業生2228名のうち、就職希望者の正規雇用就職率が99.0%であったことを報告。全学部を通じた就職率は98.1%で、本学部の就職率の高さが明らかになりました。また学部開設以来、全学部の平均就職率をほぼ毎年上回るという高い実績も示されました。

正規雇用された2021年度卒業生189名の業種別就職先は、メーカー36%、サービス14%、金融と公共・その他13%、流通12%、公務員・学校10%など、幅広い業種に及ぶという結果でした。従業員規模別の就職状況では、従業員1000人以上の大企業に29%、次いで500人以上の巨大企業に22%と、半数以上の学生が1000人以上の大企業に就職したことが、就職先の具体的な社名などが伝えられました。

### 大学が行う就職支援

#### 〈キャリアセンター〉

- エントリーシート講座
- 面接講座
- インターンシップガイダンス
- 公務員ガイダンス
- キャリア体感プログラム(職場訪問)・・・1・2年次
- 公立学校教員説明会
- キャリア発見セミナー etc.

#### 〈免許資格課程センター〉

- 教員採用試験対策講座
- 集団面接の見学や練習会
- 模擬授業の見学や練習会
- 教員採用試験の説明会
- 現職教員の方との座談会
- 「京都教師塾」大学説明会
- キリスト教主義学校教職員志願者ガイダンス etc.

ターが、教職関連の支援は免許資格課程センターが担っています。ご息・ご子女がお困りの際はこれらの窓口への相談をアドバイスいただくよう、ご父母へのお願いがりました。

テレワークが社会に浸透してオンライン会議の認知度が上がったため、今回は昨年より30組多い95組のご父母の皆様にご出席いただき、教職員を含めて約200名が総会を視聴しました。パワーポイントを使った資料がモニタ上に次々に表示され、全体にテンポの良い進行でした。次回こそ京田辺校地で開催できることを祈念しつつ、ご父母の皆様のご協力によって総会が無事に終了しましたことに、改めて感謝申し上げます。ありがとうございました。



TALK EVENT

ゲスト  
田中千洋さん



今回の総会では、最後にトークイベントを開催しました。ゲストは陸上競技の田中希実選手(スポーツ健康科学研究科博士課程(前期)1年)のお母様、田中千洋さんです。

希実さんは東京2020オリンピックで5000mに出場、1500mは8位入賞と大活躍でした。1000・1500・3000mの日本記録保持者でもあります。両親は共にアスリートで、現在は父の健智さんが株式会社自動織機で希実さんのコーチを務めておられます。そして千洋さんは北海道マラソンの優勝経験者です。トップアスリートを育てられた背景には、どのような教育方針があったのでしょうか。庄子准教授が聞き役となり、貴重なご経験をお話しいただきました。

「希実さんが競技を始めたきっかけを教えてください。」

田中 最初のきっかけは3歳の頃に始めた親子マラソンでした。私が出場する色んなロードレースで親子の部があり、「走る。」と聞くと「走る！」と言ったので、完走を目標に一緒に楽しく走ったのが始まりです。小学校に入ると、学年別のレースに出るようになり、ただ校内マラソン大会では2年生からずっと1位でも、ロードレースにはランニングクラブで練習する子がたくさんいるので、まったく通用しませんでした。それでも学年が上がる度に徐々に順位が上がり、入賞やメダルを目指して走るのが楽しくなってきたんです。当時から短距離は遅くても、走り出すと同じスピードですと走り続けられるところが大きな特徴だと思いい、長距離が向いていると私は考えていました。そこで中学校では陸上部に入り、本格的に始めた形です。

「お子さんの自由な選択を尊重されたのですか。」

田中 そうですね。私たちが嫌がっていないか気にしていましたし、無理強いしていると周囲から思われるのも嫌だったので、本当に「走るだけいいよ」という感じでした。

「希実さんは陸上長距離の名門、西

脇工業でもかなり実績を残されました。すると実業団に進む場合もかなり多いと思います。そこで大学に進学した理由、特に同志社大学を選ばれた理由と、競技と学業の両立に対する千洋さんのスタンスを教えてください。」

田中 娘は小学生の頃からずっと、自分が納得いくまでどちらも完璧にしないと気がすまない性格でした。大学での両立はもっと大変だろうと思ったので、私たち自身は、まず競技に集中して、競技を引退してからでも大学はいつでも通えるとアドバイスしました。でも本人はどうしても、身体のことなどを学びながら同時進行で走らないと意味がないと言って聞かれません。そこで興味のあるスポーツ健康科学が学べる大学を探そうと、気に留まっていたのが創立者の新島襄先生の言葉でした。自由と良心があり、一人ひとりを尊重するという教育に本人が非常に感銘を受けたようので、同志社大学への進学を希望しました。そこからなおさら、スポーツも勉強も頑張りつづけたようです。

「希実さんは大学での学業成績もトップクラスで、文武両道のアスリートでした。大学ではどのように過ごされたのでしょうか。」

田中 本人はおそらく空き時間や授業後に練習できるように、余裕を持って学びたい授業だけを履修し、集中的に学

んでいたと思います。授業を休む時はレポートに振り替えていただくなど、先生方にも柔軟に対応していただけたと思います。あとは、本当なら大学の陸上部に所属しないとグラウンドもおそらく使わせていただけない大学が多いのですが、同志社大学では陸上競技場を使わせていただけました。本当にありがとうございました。

「本日は学生アスリートの親御さんが大勢いらつしやると思っています。アドバイスやメッセージをお願いします。」

田中 アドバイスができるほど娘はちゃんと育っていないと、私自身は思っています。確かに競技面では結果を残しましたが、こだわりが強く、できない事があるとできるまで家族を巻き込むなど、家では子どもの時と何も変わっていません。娘自身もそれは自覚しています。私としては競技で成績を残すよりも、もっと人として成長してほしいとずっと思っています。現在は夫がコーチをしています。その点でも家族に甘えるのではなく、早く良いコーチを見つけて自立してほしいです。他の学生アスリートさんたちの方がよほど自立されて、気遣いや気配りもできるのだろうと、希実を見ていて思います。

「本日は貴重なお話をいただき、誠にありがとうございました。」

スポーツ健康科学部生の活躍

(2022年度)(7月までの戦績を抜粋)

- 【剣道部】
  - ◎第67回西日本学生剣道大会 準優勝・森本泰生(2018年度生)
  - 【弓道部】
    - ◎第66回関西学生弓道選手権大会 優勝・東本永遠(2019年度生)
    - 【空手道部】
      - ◎第59回西日本大学空手道選手権大会 第3位・釜つばさ(2022年度生)
      - ◎第66回全日本学生空手道選手権大会 優勝・大内美里沙(2020年度生)
      - 【バドミントン部女子】
        - ◎令和4年度関西学生バドミントン選手権ダブルス 優勝・藤本未侑(2020年度生)
        - 【レスリング部】
          - ◎令和4年度明治杯全日本選抜選手権 5位入賞・佐長拓未(2019年度生)
          - 【トリアスロン部】
            - ◎第13回日本学生スプリングトリアスロン選手権渡良瀬大会 大学選抜 団体男子 3位入賞・岡田空大(2020年度生)
            - ◎西日本学生トリアスロン選手権長良川大会 兼 東海北陸・近畿・中国四国・九州沖縄学生トリアスロン選手権長良川大会 女子 団体戦 3位・橋本華(2022年度生)、尾崎ほの花(2022年度生)
            - 【馬術部】
              - ◎第57回全関西学生馬術大会 優勝・武道美紀(2019年度生)
              - 【フィギュアスケート部】
                - ◎第21回関西学生フィギュアスケート競技大会 1部男子 優勝・本田ルーカス剛史(2021年度生)
                - ◎世界ジュニア選手権 男子シニアプログラム9位、男子シングル14位・本田ルーカス剛史
                - 【少林寺拳法部】
                  - ◎60周年記念少林寺拳法関西学生大会



- 自由組演武男子茶帯の部 優勝・奥田結人(2021年度生)、藤井俊輔(2020年度生) / 自由組演武女子二段以上の部 優勝・高橋希実(2020年度生)、喜多あみ(2021年度生) / 自由組演武男女有段の部 3位、運用法 男子 軽量級の部 2位・玉井良侑(2021年度生)
- 【陸上競技部】
  - ◎第99回関西学生陸上競技対校選手権大会 男子110mH 優勝・枋岡武奎(2020年度生)
  - ◎西日本学生陸上競技対校選手権大会 10000mW 優勝・下岡仁美(2020年度生)
  - 【サッカー部男子】
    - ◎京都FAカップ2022 第27回京都サッカー選手権決勝大会 優勝・長坂大陸(2018年度生)、黒木凌(2020年度生)、中里圭佑(2021年度生)、金沢一矢(2021年度生)、波多野崇史(2022年度生) ※天皇杯 JFA 第102回全日本サッカー選手権大会への出場権獲得
- 【ボート部】
  - ◎2022年度関西選手権大会 男子エイト 優勝・内山碧(2019年度生) / 男子舵手なしフォア 優勝・徳永誠波(2021年度生)
  - 【卓球部女子】
    - ◎令和4年度関西学生卓球春季リーグ戦 優勝・野上つばみ(2021年度生)、本井

- 【体操競技部】
  - ◎第72回西日本学生体操選手権大会 新体操男子個人 優勝・東本侑也(2021年度生) / 新体操女子個人 準優勝・長尾日乃花(2022年度生)
  - 【ソフトテニス部】
    - ◎関西学生ソフトテニスシングルス選手権大会 3位・福澤連音(2019年度生)
    - ◎関西学生ソフトテニス選手権大会 1位・松橋由依(2022年度生)、吉本珠李(2020年度生) / 2位・福澤連音
    - 【射撃部】
      - ◎2022年度関西学生スポーツ射撃選手権春季大会 AP 60M 団体 優勝・佐竹優悟(2020年度生)、吉村和徳(2021年度生) / BP 60M 優勝・佐竹優悟 / BP 60M 団体 優勝・佐竹優悟 / AR 60M 団体 優勝・深澤駿(2020年度生) / AR 60M 優勝・深澤駿
      - ◎2022年度西日本学生スポーツ射撃選手権大会 AP 60M 1位・山田実花(2022年度生)、2位・吉村和徳、3位・佐竹優悟 / BP 60M 団体 優勝・吉村和徳、佐竹優悟 / BP 60M 1位・山田実花、2位・岡本好未(2022年度生) / BP 60M 団体 優勝・山田実花、岡本好未 / AR 60M 団体 準優勝・深澤駿 / AR 60W 団体 3位・目羅渚(2019年度生) / FR 3x20 3位・目羅渚 / FR 3x20 団体 準優勝・饒平名アリス(2019年度生) / 女子総合団体 準優勝・目羅渚、饒平名アリス
      - ◎第24回日本学生選抜スポーツ射撃選手権大会 女子総合団体 3位・目羅渚、饒平名アリス / AR 60M 団体 4位・目羅渚、饒平名アリス / FR 3x20 団体 準優勝・饒平名アリス / AP 60M 1位・吉村和徳、5位・佐竹優悟 / AP 60W 8位・岡部朱里(2021年度生)
      - 【フェンシング部】

スポーツアトム編集局

スポーツアトム編集局(体育会情宣機関)では各部活動を局員が担当し、日々体育会の活動を取材し、紙面やHPにて発信しています。「カレッジスポーツを広めたい」という想いから、全ての作業に全力を注ぎ、これからも活動していきます。詳しくはHPをご覧ください。

<http://doshisha-atom.net/>



スポーツ医科学研究センター(中核的研究拠点)の活動について  
 スポーツ医科学研究センター長・スポーツ健康科学部教授 石井好二郎

(1) 研究センター設置の目的

充実した社会生活をおくる上での基礎条件としての健康の重要性を、現代ほど多くの人々が再認識している時代はないでしょう。また、これほど、生活に質的充実をもたらすうえでスポーツの果たす役割が広く認められ、スポーツの楽しみを享受する欲求が高まっている時代はかつてないと言っても過言ではありません。

本センター設置の必要性は、なによりも健康とスポーツに対する社会的関心と欲求の増大にあります。本研究センターは研究の成果を総合化し、人々の生活に還元することを目的として2018年度に設置されました。

(2) 活動の成果

① 運動・スポーツによる健康づくり

生活習慣病、要介護状態、ならびに認知症の予防・改善に、身体活動や運動が貢献することが明らかになっていきます。しかし、身体活動や運動は始めることより続けることが難しく、持続可能な運動処方の開発や展開が望まれます。この目的達成のため社会貢献も果たす戦略的研究を実施しました。



写真2



写真1

具体的には、研究を行う上で必要なデータを、地域住民の方々と共に測定会を実施し(写真1)、研究センターで分析された結果を元に作成した運動プログラムを住民自治組織に還元してまいりました(写真2)。

しかしながら、新型コロナウイルスにより地域住民の方々の協同作業が中断される状況が生じました。本センターは本学の「新型コロナウイルス感染症に関する緊急研究課題」に応募・採択され、高齢者サロンの活動が、会場の問題や運営側の心理的問題の影響で、緊急事態宣言解除後も開催中止を余儀なくされていることなどを明らかにしました。

② 本学アスリートの競技力向上のためのサポート

トップアスリートの活躍は人々に夢と希望と勇気を与え、スポーツの振興だけでなく、活力ある健全な社会の形成へも貢献します。本研究センターは設置当初より、スポーツ健康科学部に在籍した田中希実さんらの競技サポ



写真3 (提供: 田中希実さん)

同じく嘱託研究員の大学院博士前期課程2年の花野宏美さんも(写真4)、コロナのためWEBによる開催となった国際武術連盟武術套路パトチャル競技会2021(武術太極拳)にて2種目入賞するなどの成果をあげています(田中さん、花野さんの両名は2021年度同志社総長賞に選ばれました)。



写真4 (提供: 花野宏美さん)

Announcement

新しく着任された先生から自己紹介 土屋 吉史先生



はじめまして。本年度より任期付助教として着任いたしました土屋吉史(つちやよしふみ)と申します。今年の2月まで、北欧デンマークにある Bispebjerg (ビスベピアウ) Hospital という病院で約3年間、研究者として働いておりました。縁あって同志社大学にて働くことになりましたので、この場で私の身の上話を少しさせていただきます。

私の現在の研究分野は「筋骨格分子生物学」というあまり皆様にとって聞き慣れない分野かと思えます。研究内容はというと、筋肉や腱、骨をターゲットにした健康寿命延伸に繋がる基礎的な研究をしています。これまで着目されてこなかった、筋肉や腱の中に居る細胞を元気にしてあげる工夫や、細胞間ネットワークを上手に利用することで、高齢者はもちろんのこと、アスリートの素早い疲労の回復や、子どもの健やかな発育発達を手助けできるような研究に発展させたいと考えています。

私は、元々は学部・修士課程にて「教育学」を先行しており、中・高の教員を志しておりました。しかし、生体の内分泌機構に関心があったことに加え、2012年に出会った論文(脂肪燃焼を促進する骨格筋由来タンパク質の発見)がきっかけで、研究への気持ちが芽生えました。立命館大学で博士の学位取得後はスポーツ健康科学領域から離れてもう少し細かい分子レベルの研究をしたいと思い、研究員として3年間、長崎大学・熊本大学にて「筋肉」の再生や発生の研究を行いました。私は出身が群馬県ということもあり引越の度に住所が南下していましたので、順番で行くと九州地方の次はいよいよ日本を抜け出し「東南アジアか? 中東諸国か?」と予想していました。しかし、当時、自分の研究の興味がどうやらデンマークにある病院から発信されていたようで、気付けばそこで数年間研究生活を送っていました。デンマークは幸せの国と言われています。生理学の権威であり人格者でもあった Mikael Kjaer 博士と共に研究できたことは私にとっての幸せでしたので、この言われは真実だったのだと今感じています。皆さんも時間を見つけて是非行ってみてください。

同志社大学では、こうした研究経験を活かし自分にしかできないアイデアとスキルで新たな仕事に挑戦していきたいと思えます。また、学生には自身の経験を通じて学んできた失敗や成功を伝えることで、学生自身のアイデンティティを高められるようサポートをしていきたいと思っています。

2022年度「同志社大学スポーツ健康科学部 教員父母連絡会 新型コロナウイルス感染症に係る奨学金」について

2020年より、新型コロナウイルス感染症の影響により学業継続のために支援が必要な学生に対して、教員父母連絡会独自の奨学金制度を設立し、運用を開始いたしました。2021年度に名称を「同志社大学スポーツ健康科学部 教員父母連絡会 新型コロナウイルス感染症に係る奨学金」に変更し、2022年度も引き続き募集を行いました。

なお、学部ホームページ、メール等で周知していました募集要項は以下の通りです。

- ① 給付額と人数  
給付額：1名につき1万円(在学中に1回限り)  
給付人数：100名程度。ただし、申請者が多い場合には、教員父母連絡会の当該年度予算の範囲内で給付人数が増える可能性があります。
- ② 対象学生 スポーツ健康科学部の在籍学生。ただし、申請時点で休学中の者は除きます。また、既に本奨学金の給付を受けた者は申請できません。
- ③ 候補者選考 2022年度の以下のいずれかの奨学金に申請し、採用された者とします。他の奨学金との併給も可能です。  
(1) 独立行政法人日本学生支援機構奨学金(給付・貸与のいずれでも可)  
2021年度以前に採用され2022年度の継続が認められた者も含みます  
2021年度中に予約採用に申請した者も含みます  
(2) 同志社大学奨学金、同志社大学貸与奨学金、同志社大学修学特別支援奨学金  
(3) その他、家計状況を審査する学内の奨学金
- ④ 申請期間 2022年10月30日(日)まで(2022年度に上記③に記載のいずれかの奨学金に申請していれば、本奨学金にも申請できます)。ただし、2022年10月30日以降であっても家計急変等により上記③に記載の奨学金に申請した場合には、追加で本奨学金の申請を認めます。
- ⑤ 採用者への奨学金振込時期 2022年12月中旬以降

教員父母連絡会寄贈図書

碧上館のラーニング・テリア(自習室)に常置します。

| 書籍名  |
|--|
| 身体運動学一関節の制御機構と筋機能  |
| 骨格筋肥大のサイエンスとトレーニングへの応用                                       |
| スポーツの世界の物語性:「からだ」から表現へ                                       |
| 実験医学別冊 改訂版 もっとよくわかる! 脳神経科学                                   |
| 神経科学 一脳の探求一(改訂版)   |
| パラリンピックブレイン  |
| 競技スポーツにおけるコーチング・トレーニングの将来展望: 実践と研究の場における知と技の好循環を求めて          |
| コンテクスチュアルトレーニング運動学習・運動制御理論に基づくトレーニングとリハビリテーション               |
| Stadia: The Populous Design and Development Guide            |
| Sports Business Management: Decision Making Around the Globe |
| 年間購読 [月刊誌] 教職課程  |
| 年間購読 [月刊誌] 教員養成セミナー  |

キャンパスカレンダー

| 秋学期             |              |
|-----------------|--------------|
| 2022年 11月 3日(木) | 文化の日(休日)     |
| 5日(土)           | 同志社クローバー祭    |
| 6日(日)           |              |
| 6日(日)           | スポーツフェスティバル  |
| 23日(水)          | 勤労感謝の日(休日)   |
| 26日(土)          | 創立記念行事週間(休講) |
| 27日(日)          |              |
| 28日(月)          | 創立記念日(休日)    |
| 29日(火)          | キリスト降誕日(休日)  |
| 12月 25日(日)      | 冬期休暇開始       |
| 27日(火)          | 冬期休暇終了       |
| 2023年 1月 6日(金)  | 講義再開         |
| 7日(土)           | 成人の日(休日)     |
| 9日(月)           | 創立者永眠の日      |
| 23日(月)          | 講義最終日        |
| 26日(木)          | 期末試験開始       |
| 27日(金)          | 建国記念の日(休日)   |
| 2月 11日(土)       | 期末試験終了       |
| 16日(木)          | 卒業可否通知       |
| 3月上旬            | 在学生成績通知      |
| 15日(水)          | 秋学期卒業式・学位授与式 |
| 20日(月)          |              |
| 21日(火)          |              |
| 22日(水)          |              |
| 31日(金)          | 秋学期終り        |

ご意見ご感想は電話またはe-mailでお寄せください

スポーツ健康科学部教員父母連絡会事務局  
 (スポーツ健康科学部事務室内)  
 Tel.0774-65-6030 e-mailはこちら



スポーツ健康科学部ホームページ  
 ▶教員父母連絡会のページから  
 随時最新情報を発信しております



# DO FIELD 20

Doakisha  
University

DO-FIELD [ドク・フィールド] 同志社大学スポーツ健康科学部教員父母連絡会報 第20号 2022年11月発行  
[編集・発行] 同志社大学スポーツ健康科学部教員父母連絡会 〒610-0394 京田辺市多々羅都谷1-3 同志社大学スポーツ健康科学部事務室内 Tel.0774-65-6030 Fax.0774-65-6029 e-mail:jt-spojim@mail.doshisha.ac.jp  
[デザイン] 柳原広行 (株式会社デザイン) [制作・印刷] 株式会社デザイン